



# 医系学生通信

創刊号  
2009年10月8日

発行：静岡県民主医療機関連合会  
〒420-0068 静岡市葵区田町 5-90  
TEL:054-253-7275

## 創刊によせて

静岡田町診療所

山本輝人（7年目 医師）

医療従事者を目指す皆さん、こんにちは。

私たちは静岡県下で1病院3診療所のほか、在宅専門クリニック、保険薬局、訪問看護ステーションやデイサービスを多数抱える医療機関です。全国的に展開している民主医療機関連合会（民医連）に加盟しています。



静岡の全域にわたり地域やプライマリケア、在宅医療を担っており、これからの超高齢社会を支える最前線と静岡の全域にわたり地域医療やプライマリケア、在宅医療を担っており、これからの超高齢社会を支える最前線として日々誇りを持ち働いています。また、民医連独自のシステムとして地域の住民・患者さんと「健康友の会」「医療生活協同組合」を結成し、病院の創立から運営まで手を携えながら住民本位の医療を展開することが大きな特徴となっています。新自由主義や格差社会の中で医療機関への受診すらできない患者さんが増えている中、私たち民医連の役割が今後ますます重要となることは間違いありません。

次世代を担う皆さんに、私たちの病院診療所の活動や今の医療の現状を伝え、学生同士の交流の場にしてきたいと思っています。そして、実際に足を運んでいただき、将来私達の医療、運動に参加していただけるきっかけ作りができればと思います。

## 特集 「緩和ケア」

### 特集「緩和ケア」

#### 「緩和ケアを発足させて」

三島共立病院薬剤科長 濱口祥子

三島共立病院では昨年5月に「緩和ケアチーム」を発足させ活動を開始しています。

三島共立病院のある県東部では、82年に長泉町に「県立静岡がんセンター」が開院しました。その後三島共立病院でも「緩和ケア」が必要な患者さんの入院が徐々に増えてきている状況でした。そこで8年度の医療方針として、特徴ある医療活動を行いたい、その一つとして、「緩和ケア」に取り組みこととし、医師・看護師・薬剤師からなる「緩和ケアチーム」を発足させました。

「緩和ケアチーム」が最初に行ったことは、看護師への「緩和ケア」に対するアンケートをとりました。そこでは、「緩和ケアに興味があるものの、患者様へは十分な看護や医療を提供できていない」「緩和ケアに関する知識が不十分」「施設面で十分な環境ではない」といった回答が寄せられました。そこで、月に2回の会議では、緩和ケアに関する学習、実際の症例検討を中心に行いました。症例検討を行う中で、自分たちの知識が不十分な点を学習しようということ、学習テーマを決めています。例えば、リンパ浮腫の患者様にリンパマッサージをしたところ、患者様が喜んでくれたという症例を受けて、リンパマッサージについて学習を行いました。また、「緩和ケア」の基本の痛みへのケアという点では、痛みがあっても痛みを訴えたい壮年期の男性の症例、痛みを訴えることができずに、奇声をあげることが痛みの訴えだったという症例、または痛みの評価に対してもスタッフの間ではらつきが生じることが多いなどから、疼痛評価基準を設けることもこのチームを中心に考

「緩和ケア」ってなあに？ がんは、日本人の死因で最も多い病気です。現在、3人に1人ががんで亡くなっています。がん患者さんは、がん自体の症状のほかに、痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状や、落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を経験します。「緩和ケア」は、がん治療の初期段階から行う、身体的・精神的な苦痛を和らげるための医療です。

「緩和ケアチーム」って？ 緩和ケアは、専門チームでおこないます。施設によって違いはありますが、医師・看護師・薬剤師・ソーシャルワーカー・カウンセラー・栄養士・理学・作業療法士など様々な職種がチームとなって、がん患者さんのさまざまなニーズに対応していきます



えました。

「緩和ケア」は一定のケア基準があるものの、患者様ごとに違う病態や生活背景や性格などを考慮する必要がありますが、うまくいかないこともあります。患者様から学ぶ視点を大切にしながら、より良い緩和ケアを提供できるように努めています。

### 「緩和ケアチームで学んだこと」

三島共立病院2階病棟看護師 鈴木 ちよ美

緩和ケアチームの一員となって一年以上が経ちますが、毎回メンバーの方々から勉強させていただくことばかりでした。チームに入って学ぶまで、緩和ケアというのは、ターミナルの患者様が苦痛なく最期を迎えるためのケアだと思っていました。けれど本当は、ガンを宣告された患者様が、それからの命を自分らしく生きるためのケアだと学びました。これまでも、ガンのターミナル患者様が入院されていましたが、高齢で寝たきりであったり、認知症だったり、意志決定の困難な方もいらつしやいました。そういう時も、その患者様の苦痛は何か、どうすれば良いかを看護師間で話し合いました。残念ながら亡くなられた後にも、自分たちの看護はどうであったかなど、それぞれの思いを話し合うことでチーム以外の看護師にも緩和ケアというものが広まっていると思います。

チームで学んだ、緩和ケアは死へのケアでなく、生へのケアであること」を忘れず、より良い看護ができるようにこれからも努力していきたいです。



鈴木Nsと藤田Ns

### 「緩和ケアプロジェクトに参加して」

三島共立病院2階病棟看護師 藤田 ゆみ

緩和医療（パソアティブケア）とは、治療を目的とした医療ではなく、症状（特に悪性腫瘍による症状をさす場合が多い）を和らげることを目標とした医療のことを言います。また、痛みなど疼痛をはじめとした身体的・精神的な苦痛の除去目的の医療をさします。このような症状を持ち、不安を抱えている患者様に対し、よりよいケアを提供するため、知識向上を図る目的で、約一年間このプロジェクトへ参加させて頂いています。

緩和医療の研修に参加もさせて頂き、私自身力を入れておこなっていききたいことがあります。苦痛を感じ生活している患者様の緩和はとても大切ではありませんが、その患者様を支えていた家族のケア、グリーフケアを考えられる看護師をめざすことです。『Grief』とは深い悲しみや悲嘆という意味で、家族の死によって心に傷を受けた人に対する精神的サポートを意味します。

私は今まで、共感することはできても、相手を癒す声かけをすることが苦手なため、いつもそのような場面に遭遇すると言葉をつまらせていたことが多かったです。そのため苦痛除去のためにケアに努めた後も、何かスッキリしない点が多く、先にすすめない自分がありました。しかし、グリーフケアの話を聞き、自分今まで足りないものを今後に生かしていきたくなり、現在緩和に対する知識だけでなく、グリーフケアに関する知識も増やし、あらゆる場面で活用していけたらなあと、プロジェクトを通して考えています。まだ不足している点が多いですが、少しずつ目標に向かって進んでいきたいと思っています。

### 職場紹介

#### リハビリ科

三島共立病院リハビリ科の職場紹介をさせて頂きます。現在理学療法士、作業療法士、リハ助手合わせて10名のスタッフで業務を行っています。

業務内容は、外来・入院・訪問の3部門でリハビリ訓練を行っています。スタッフは平均年齢35歳で、男女比3：7の割合です。男性スタッフは（私を含めて）心身ともに女性陣に守られつつ（？）安心して仕事をさせて頂いております。新婚のスタッフが多いため、休み時間には結婚生活の大変さを話し合ったり、それを横で聞いている未婚のスタッフが結婚生活に夢を失ったり、悲喜こもこも（？）の職場です。

リハビリを行っている患者様は、地域の方々が大部分を占めるため、日々『人生の先輩達』に豊富な経験を教えていただきながら成長させていきます。



リハビリテーション科 村山泰規



8月22日・23日、石川県の能登半島で

東海北陸地協DANSが開かれました。東海北陸7県の看護学生が集まり、学習を通じて「看護観」や「理想の看護師像」について考え交流する企画。4回目の今年は、学生の今津さん、遠藤さん、職員4名（鈴木、沢端、望月、栗田）が参加しました。全体では学生・職員合わせて約80名が集まりました。



### 企画レポート

頑張つて調べまとめ上げた内容を発表しました。その他夕食のバーベキュー大いに盛り上がった交流会、炎天下のもと汗を流しての運動会など、楽しい企画盛りだくさんでした。

来年はいよいよ静岡で開催の年。参加した学生も「とても充実した二日間でした。来年はたくさん友達を誘って参加したいです。」と意欲を語っています。



### ★ 求められる医療者とは？「医学生のことごとく」

### 夏の熱海に400名が集つ

今年のテーマは「自分らしく生きるとは？」ターミナルケアから考える明日」。石川県・中能登町に五代続く診療所の院長・安田紀久雄医師と中能登訪問看護STの松栄拓美看護師による記念講演では、たくさん患者さんの在宅での最期にたずさわってこられた豊かな経験が語られました。学生による分科会も「脳死について」（岐阜）、「笑って死ねる病院」から学ぶ」（石川）、「劇による事例紹介とディスカッション」（愛知・福井）、「コミュニケーションについて」（三重）など、多彩な内容でした。静岡からもポスター発表をおこない、がんのターミナルの患者さんが在宅・ホスピスで過ごす場合の条件や特徴、自己負担金や高療養費制度などについて、

昨年未、金融危機の破たんが起き、多くの方が仕事も住む場所も失いました。そう言う方を助けようと、派遣村や全国で相談会が開かれ、民医連の多くの職員も参加しています。

そういう情勢も反映した中、8月16日医学生のことごとくが行われました。テーマ「貧困、いのちの平等と生活を守る医療者として」。全国から医学生、民医連の職員、共

同組織の方が集まり、学び考えを深め、交流を行いました。

日比谷の派遣村村長を務めた湯浅誠氏による講演が行われました。身近な問題がきっかけですぐに貧困に陥る「滑り台社会」であり、「溜め」が少ない人ほど貧困に陥りやすい。など分かりやすく話していただきました。その他にも学生や医師によるシンポジウム、生活が困難になった方の事例から実態を知り気持ちを考えたり、意見交換や各県の学習活動発表も行われました。

医師となる者として、いのちが脅かされる現状を見逃してはならない。貧困は自己責任ではなく社会的な構造があり誰にも起こり得ること。

貧困をはじめとした様々な問題や実情を知り、多くの人へ発信し、医療や社会をよくする仲間を増やしていけば、変えられると、医学生が壇上で確信を込めて宣言して終了しました。



\*「溜め」 家族・友人（人間関係）、仕事、お金、意欲など

\*静岡でも支援活動を月一回、三島の「東バトの会」の夜回り活動（最終水曜日）、浜松支援ネットの「街頭相談会」（土または日曜日）に民医連職員が参加しています

\*「共同組織」 民医連の事業所を支える地域の方の会。出資や地域の方の視点で改善点を教えてもらったり、地域で医療を行っていくにあたっての相談組織

## つれづれ帳

静岡民医連では薬剤師の研修制度も考慮されています。私の場合、保険薬局で5年勤めた後、研修を兼ね念願だった三島共立病院（病棟業務）の配属になりました。

保険薬局との大きな違いは、輸液・注射製剤があること、チーム医療の一員として、回診やカンファレンスに参加していること。については、薬剤の専門家として、医師や看護師から頼られることが多く、薬物治療について貢献できるやりがいを感じました。また患者さんから学ぶことも多くありました。薬物治療はもちろんですが、薬の嚥下の問題、管理の問題、緩和ケアの在り方など様々…。何より臨床や検査データの知識が増えました。

そして今年6年ぶりに、保険薬局に帰任しました。病棟で学んだことで一回り成長して戻ってきました。薬剤師として、さらに自信が持てるようになりました。

保険薬局では、自宅への訪問服薬指導も行います。私が担当している93歳のお婆ちゃんは、子宮がんで自宅にて緩和ケアを行っています。訪問時いつも笑顔で迎えてくれて、私も会話するのが楽しみになっています。自宅療養をされる方が増えている中で、地域の患者さんに必要とされる薬剤師を日々目指しています。

ことぶき薬局

竹端尚美（薬剤師・12年目）

## 感染列島



作製：2008年  
上映時間：138分  
監督：瀬々敬久

私のお勧めの映画は「感染列島」です。現在新型コロナウイルスで日本は他ならず世界中がその恐怖に脅かされています。感染症に冒される恐怖や感染拡大によって周囲に与える影響と報道によるパニック状態、この映画は医療従事者として患者として、また環境も考えさせられる大きなテーマがあり映画の世界に引き込まれて涙がでてきました。現実にはなってほしくないですが、こういう状況が予測されるということは映画から分かると思います。時間があつたら是非レンタルしてみてください。

佐藤町診療所看護師の坂本です。病院勤務・訪問看護・現職場経験20年目になります。どの職場もそうですが日々患者さんから学ぶ事が多く看護師になって自分が何らかの形で社会に貢献できてよかったと思っています。

おすすめ  
情報



前から2番目が坂本さん

## 医療情報 in 静岡

### ◇ 「藤枝市立病院をみんなの手で守ろう」7月に学習会

藤枝市立病院は、医師不足による科の一次閉鎖、・休診、歯科口腔外科問題での保険医療機関指定取り消しによる減収。さらに浜松医大の医師引き上げで産婦人科病棟の閉鎖などが続きいており、政府による民営化など「経営形態の見直し」で市民病院ではなくなる心配があります。

7月19日、藤枝市で「市立病院をみんなで守る会」主催の学習会が開かれました。「地域医療崩壊はどうして起きたか、どう打開するか」をテーマに志田剛静岡民医連事務局長が講演。今後の取り組みについて話し合いました。すでに会には150名の方が賛同を寄せています。市民ぐるみのたたかいと運動があってこそ医療を守ることができるのではないのでしょうか。

### ◇ 「榛原総合病院9月に民営化の方針」

榛原総合病院は、9月に民営化に踏み切る方針を明らかにした。「強靱な医療法人を指定管理者に選ぶしが病院存続の道はなかった」と関係者は述べています。浜松医大からの医師引き上げで今年4月から総合内科、循環器科が閉鎖に追い込まれ、5月には脳神経外科の医師も退職、同科の入院患者の受け入れは中止となり、救急診療体制も縮小された。

現在、非公式で徳洲会と移行に向けた話し合いが行われており、9/26日以降本格的な調査に入る予定です。

## イベントスケジュール

### 11/23 (月・祝) 静岡民医連 学術運動交流集会 「ストップ医療崩壊私たちが切り開く地域医療の未来」

静岡民医連の職員の日頃の研究発表や活動報告、交流の場です。参加してみませんか？

内容：記念講演 講師：色平哲郎医師（佐久総合病院）、テーマ発表、分科会

時間：10:00～16:30 場所：静岡労政会館 締切：11/21 (土)

### 10/18 (土) 生協きたはま診療所健康まつり

健康チェックボランティア募集！

時間：10:00～14:30 場所：美園中央公園

血圧測定、骨密度検査、パッチテストなど手伝いをお願いします。やり方は職員が指導します。お店も多数出ているので遊びに来て下さい。

### イベントの申込・お問い合わせ

☞ 医学生

静岡民医連浜松事務所

Tel：053-435-5932 e-mail：igakutai@shizumin.com

☞ 看護学生・薬学生・リハビリ学生

三島共立病院

Tel：055-973-0882 e-mail：kangakusei@shizumin.com